

## シニアカレッジ上越同窓会グループ活動「楽足会(らくほかい)」の活動 ～ 直江津ものがたり・北前船の足跡 ～

上越市の市街地は、高田地区と直江津地区があり、高田地区は主に江戸幕府が高田城を築城してから大いに発展し、現在も商業の中心地として賑わっている。一方、直江津地区は上杉謙信公、親鸞聖人、北前船、松尾芭蕉関係等歴史ある町であり、近代においては放浪記の林芙美子、童話作家の小川未明、説経節や謡曲の「婆相天」となって語り継がれ、後に森鷗外によって「山椒大夫」として小説化された「安寿と厨子王」碑等石碑等も多く見られ、更に砂丘地の独特な地形等狭い範囲に見所が多くありますが、この度は

日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間  
～北前船寄港地・船主集落～」の構成遺産  
の神社・仏閣等を中心に歩行会を開催しました。



直江津駅前からスタート

直江津駅前に集合後、一番目の立ち寄り箇所「構成遺産・住吉神社」に向かい、続いて「構成遺産・琴平神社」、「構成遺産・ライオン像のある館(旧直江津銀行)」と、日本遺産の構成遺産を巡り



構成遺産・住吉神社



構成遺産・琴平神社



構成遺産・ライオン像のある館

途中、森鷗外の「安寿と厨子王」碑、小川未明の童話「赤い蠟燭と人形」像を巡り楽足会の活動は年内最後となる歩行会を実施後、



安寿と厨子王碑



赤い蠟燭と人魚像



納会

来年の活動方針、活動希望地等を語り、美味しい海鮮丼を頂きながら納会を開催し年内の楽足会活動を締めくくった。